

科学的介護情報システム【LIFE】について

目次

1. 科学的介護情報システム【LIFE】について
2. 導入方法
3. 科学的介護推進体制加算について
4. 個別機能訓練加算(Ⅱ)について

科学的介護、LIFEってなに？



介護の新しいかたちと科学的介護とは

厚生労働省が推進しているもので、データベースを活用して介護を行うという介護の新たなかたちです。

科学的介護を推進することで、介護業界に不足していた情報を取り入れることが可能になり、より利用者が安心できるサービスを提供できるようになったり、スタッフの負担軽減にもつながったりと、さまざまなメリットを得られることが期待されています。

① 科学的裏付け(エビデンス)に基づいた介護の実施



② 科学的に妥当性のある指標等を現場から収集、蓄積し、分析



③ 分析の成果を現場にフィードバックし、更なる科学的介護を推進



自立支援・重度化防止の取り組みの推進

2021年度介護報酬改定において、科学的に効果が裏付けられた自立支援・重度化防止に資する質の高いサービス提供の推進を目的とし、LIFE を用いた厚生労働省へのデータ提出とフィードバックの活用による、PDCA サイクル・ケアの質の向上を図る取組を推進することとなりました。



科学的情報システム(LIFE)



PDCAサイクル

LIFE (Long-term care Information system For Evidence) は日本語でいうと「科学的介護情報システム」です。

導入の最大の目的は「**経験と勘**」から「**エビデンスに基づいた介護(客観的結果に基づいた介護)**」を推進すること。

介護に関するさまざまなデータを収集し、それを分析してフィードバックすることで、介護の質の向上を図るのが大きな狙いです。

医療においては1990年代からエビデンス・ベースド・メディスンが浸透し、治療の標準化が進んできました。介護分野においては、現場レベルでは様々な経験、ノウハウが詰め込まれてきたと思いますが、やはり現場目線の主観的アプローチが大半で、エビデンスに基づくケアはまだまだ十分とはいえません。

そこで、**介護にもエビデンスを導入し、全国どこでも質の高い介護(ケア)が受けられるように、介護の質の向上を目指す**のがLIFEの主な狙いになっています。

2017年度

V
I
S
I
T

○ VISITの運用を開始

通所・介護リハビリテーション事業所から、リハビリテーションの情報収集を開始
2020年3月末時点で631事業所が参加

2018年度

C
H
A
S
E

○ 介護報酬においてVISITを評価

対象サービス: 通所・訪問リハビリテーション事業所
リハビリテーションに係るデータ収集・分析を開始

2020年度

○ CHASEの運用を開始

全ての介護サービスを対象として、高齢者の状態やケアの内容等の情報を収集開始
2020年10月末時点で2,999事業所にIDを発行
モデル事業で、提出データとフィードバックを試行的に実施し、アンケート・ヒアリングを通じて
内容のブラッシュアップを実施。

2021年度

LIFE

○ VISITとCHASEを統合し、LIFEの運用を開始

令和3年度介護報酬改定において、新たな評価を創設
事業所単位に加えて、個人単位の分析結果をフィードバック予定
データの入力負担を低減
2021年3月末時点で約6万事業所にIDを発行

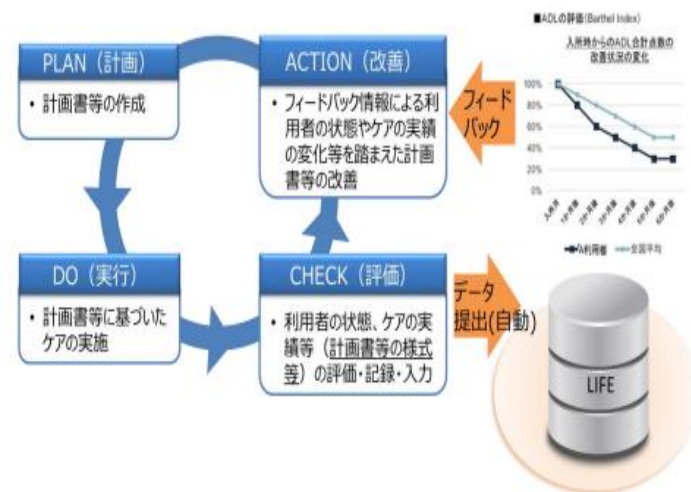
<LIFEの活用により可能となること>

利用者個人の単位で、個人が受けているケアの効果が十分か、自身にあった適切なケアが
何か等についてフィードバックされることにより、個人の状態に応じたデータに基づく適切なケア
を受けることができるようになる。

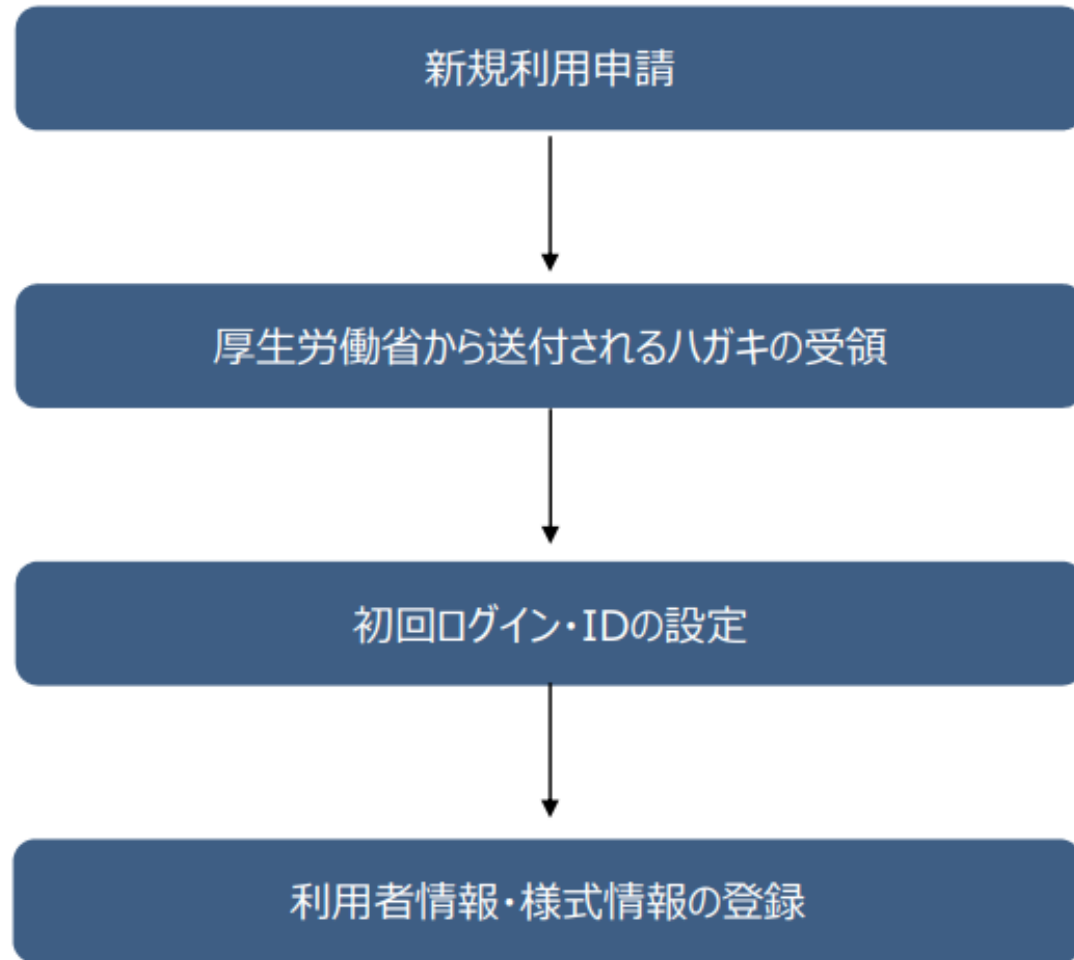
- 介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容などを一定の様式で入力すると、インターネットを通じて厚生労働省へ送信され、入力内容が分析されて、当該施設等にフィードバックされる情報
- 介護事業所においてPDCAサイクルを回すために活用するためのツール

LIFEにより収集・蓄積したデータの活用

- LIFEにより収集・蓄積したデータは、フィードバック情報としての活用に加えて、施策の効果や課題等の把握、見直しのための分析にも活用される。
- LIFEにデータが蓄積し、分析が進むことにより、エビデンスに基づいた質の高い介護の実施につながる。
- 今後、データの集積に伴い、事業所単位、利用者単位のフィードバックを順次行う予定である。



1. 全国で統一された仕組みで介護におけるビッグデータが取得できる。
2. 厚生労働省からのフィードバックによりケアの質の向上につながる。
3. 計画・評価・実行のPDCAを効果的に実行できる
4. データ提出やフィードバックを活用することで得られる加算がある



LIFEの基本的な利用の流れ



Microsoft Edgeへ移行のお願い

2022年6月16日をもってInternet Explorer11のサポートが終了となり
数か月後に完全に使用できなくなる可能性があります。
Microsoft Edgeへの早期移行をお願いします。詳細はお知らせをご確認ください

LIFE

科学的介護情報システム

VISITをご利用されていた方

アカウント引継ぎ

専用の起動アイコン(.exe)でシステムを起動する必要があります

登録済みの方

ログイン

専用の起動アイコン(.exe)でシステムを起動する必要があります

初めてご利用される方

新規登録

「問い合わせフォーム」再開のお知らせ

お問い合わせのある方は、本画面右上の「お問い合わせの方へ」を押下し、
最初に出てきた画面の右下の「お問い合わせフォーム」を押下してください。
パスワードを忘れた方は、本画面右上の「パスワードを忘れた方へ」を押下してください。

2022/06/13

※Microsoft Edgeへ移行のお願い※

いつもLIFEシステムにご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

Microsoft 社より2022年6月16日をもって Internet Explorer 11のサポートが終了となることが告知されております。

今回のサポート終了に伴い、LIFEをご利用できるWebブラウザはMicrosoft Edgeのみとさせていただきます。またInternet Explorer 11利用に関するLIFEシステムの不具合については今後対応致しかねますのでご了承ください。

現在Internet Explorer 11でLIFEをご利用の方で**使用ブラウザをMicrosoft Edgeに変更する場合は、切り換える前にバックアップファイルの取得等の操作が必要**となります。必ず「操作説明書 Microsoft Edge 移行編（右上の「操作マニュアル等」からダウンロードいただけます。）」をご一読の上、操作をお願い致します。

特に、Edgeに変更した後は、必ず、バックアップファイルをインポートするようお願いいたします。暗号化キーの再設定してしまうとヘルプデスクでの手続きが必要となり、お時間がかかりますので、ご留意いただけますと幸いです。

※初めてLIFEをご利用いただく方で、最初からブラウザをMicrosoft Edgeをお使いの方はそのままご利用いただけます。

LIFEの基本的な利用の流れ



新規利用登録は毎月25日締めです。翌月の初めまでに利用案内をFAXにて通知します。



初めてご利用になる方は、下のボタンから新規利用登録をおこなってください。

新規利用

新規利用をクリックし
新規利用申請を行います

事業所番号を入力し、「参照」ボタンを押下してください。

事業所番号

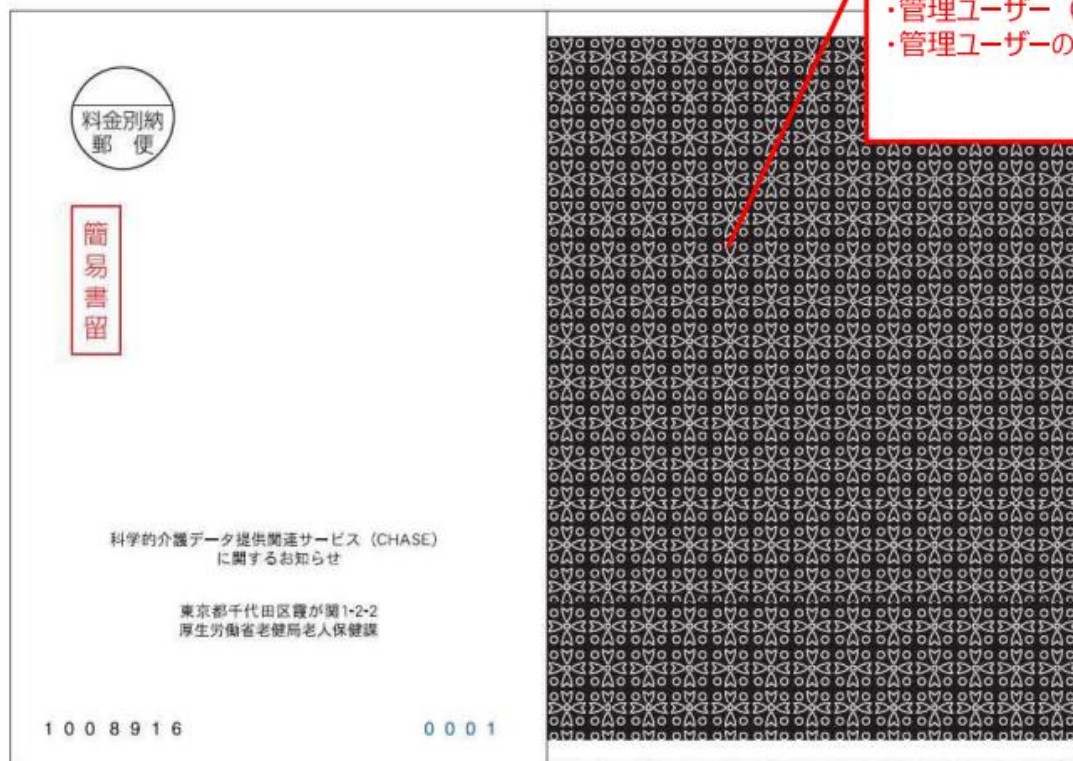
10文字の半角数字又は半角英字（大文字）で入力してください。

参照

LIFEの基本的な利用の流れ



ハガキのイメージ



利用開始に必要な以下情報が記載されています。

- ・「起動アイコン」のダウンロード用URLと、ダウンロードに時必要となるパスワード等の情報
- ・管理ユーザー（※）のID
- ・管理ユーザーの初期パスワード

LIFEの活用が要件として含まれる加算一覧



	科学的介護 推進加算 (Ⅰ) 科学的介護 推進加算 (Ⅱ)	個別機能訓 練加算(Ⅱ)	ADL維持等 加算(Ⅰ) ADL維持等 加算(Ⅱ)	リハビリテー ションマネジ メント計画書 情報加算	理学療法、 作業療法及 び言語聴覚 療法に係る 加算	褥瘡マネジ メント加算 (Ⅰ) 褥瘡マネジ メント加算 (Ⅱ)	褥瘡対策指 導管理(Ⅱ)	排せつ支援 加算(Ⅰ) 排せつ支援 加算(Ⅱ) 排せつ支援 加算(Ⅲ)	自立支援促 進加算	かかりつけ 医連携薬剤 調整加算	薬剤管理指 導	栄養マネジ メント強化加 算	口腔衛生管 理加算(Ⅱ)
介護老人福祉施設	○	○	○			○		○	○			○	○
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	○	○	○			○		○	○			○	○
介護老人保健施設	○			○		○		○	○	○		○	○
介護医療院	○				○		○	○	○		○	○	○

	科学的介護推進 加算	個別機能訓練加 算(Ⅱ)	ADL維持等加算 (Ⅰ) ADL維持等加算 (Ⅱ)	リハビリテーショ ンマネジメント加算 (A)ロ リハビリテーショ ンマネジメント加算 (B)ロ	褥瘡マネジメント 加算(Ⅰ) 褥瘡マネジメント 加算(Ⅱ)	排せつ支援加算 (Ⅰ) 排せつ支援加算 (Ⅱ) 排せつ支援加算 (Ⅲ)	栄養アセスメント 加算	口腔機能向上加 算(Ⅱ)
通所介護	○	○	○				○	○
地域密着型通所介護	○	○	○				○	○
認知症対応型通所介護(予防含む)	○	○	○ (予防を除く)				○	○
特定施設入居者生活介護(予防含む)	○	○	○ (予防を除く)					
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	○	○					
認知症対応型共同生活介護(予防を含む)	○							
小規模多機能型居宅介護(予防含む)	○							
看護小規模多機能型居宅介護	○				○	○	○	○
通所リハビリテーション(予防含む)	○			○ (予防を除く)			○	○
訪問リハビリテーション				○ (予防を除く)				

科学的推進体制加算の算定要件は以下の2点

1. LIFEへのデータ提出

2. LIFEフィードバック機能の活用によるPDCAサイクルの推進・ケアの向上を図ること

科学的介護推進体制加算

単位数	40単位 / 月
算定要件	利用者ごとのADL値、栄養状態、口腔機能、認知症の状況、その他の心身の状況等の係る基本的な情報をLIFEに登録 サービスを適切かつ有効に提供するために、必要に応じてサービス計画を見直すなど(イ)に規定する情報等を活用していること。(PDCAサイクルの運用)

LIFEへの入力情報



別紙様式1

科学的介護推進に関する評価（通所・居住サービス）

氏名

殿

評価日 令和 年 月 日
前回評価日 令和 年 月 日
記入者名

障害高齢者の日常生活自立度：自立、I1、I2、A1、A2、B1、B2、C1、C2
認知症高齢者の日常生活自立度：自立、I、IIa、IIb、IIIa、IIIb、IV、M

基本情報	保険者番号	生年月日	明・大・昭・平	年	月	日
	被保険者番号	性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女			
	事業所番号					

総論

既往歴（前回の評価時より変化のあった場合は記載）〔任意項目〕						
服薬情報〔任意項目〕						
1. 薬剤名（ ）（ ）（ /日）（処方期間 年 月 日～ 年 月 日）						
2. 薬剤名（ ）（ ）（ /日）（処方期間 年 月 日～ 年 月 日）						
〔任意項目〕						
同居家族等 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> 配偶者 <input type="checkbox"/> 子 <input type="checkbox"/> その他）（複数選択可）						
家族等が介護できる時間 <input type="checkbox"/> ほとんど終日 <input type="checkbox"/> 半日程度 <input type="checkbox"/> 2～3時間程度 <input type="checkbox"/> 必要な時に手をかす程度 <input type="checkbox"/> その他						
ADL	自立	一部介助	全介助			
・食事	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0			
・椅子とベッド間の移乗	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	（監視下）		
	（座れるが移れない）→			<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
・整容	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0			
・トイレ動作	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0			
・入浴	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0			
・平地歩行	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	（歩行器等）		
	（車椅子操作が可能）→			<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0	<input type="checkbox"/> 0
・階段昇降	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0			
・更衣	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0			
・排便コントロール	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0			
・排尿コントロール	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 0			
在宅夜間の有無等〔任意項目〕						
<input type="checkbox"/> 入所/サービス継続中						
<input type="checkbox"/> 中止（中止日： ）						
<input type="checkbox"/> 居宅（※） <input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設入所 <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設入所 <input type="checkbox"/> 介護医療院入所 <input type="checkbox"/> 介護療養型医療施設入所						
<input type="checkbox"/> 医療機関入院 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> その他						

※居宅サービスを利用する場合（介護サービスを利用しなくなった場合は、その他にチェック）

口腔・栄養	身長（ cm）	体重（ kg）	褥瘡の有無〔任意項目〕 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり					
	口腔の健康状態							
	・硬いものを避け柔らかいものばかり食べる		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ					
	・入れ歯を使っている		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ					
	・むせやすい		<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ					
	誤嚥性肺炎の発症・既往（※） <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（発症日： 年 月 日）（発症日： 年 月 日）							
	※初回の入力時には誤嚥性肺炎の既往、二回目以降の入力時は前回の評価後の誤嚥性肺炎の発症について記載							
	認知症の診断							
	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり（診断日 年 月 日； <input type="checkbox"/> アルツハイマー病 <input type="checkbox"/> 血管性認知症 <input type="checkbox"/> レビー小体病 <input type="checkbox"/> その他（ ））							
	認知症	DEB13（認知症の診断または疑いのある場合に記載）						
まったくない ほとんどない ときどきある よくある 常にある								
・日常的な物事に関心を示さない <input type="checkbox"/>								
・特別な事情がないのに夜中起き出す <input type="checkbox"/>								
・特別な根拠もないのに人に言いがかりをつける <input type="checkbox"/>								
・やたらに歩きまわる <input type="checkbox"/>								
・同じ動作をいつまでも繰り返す <input type="checkbox"/>								
〔以下、任意項目〕								
・同じ事を何度も何度も聞く <input type="checkbox"/>								
・よく物をなくしたり、置き場所を間違えたり、隠したりする <input type="checkbox"/>								
・昼間、寝てばかりいる <input type="checkbox"/>								
・口汚くのしる <input type="checkbox"/>								
・場違いあるいは季節に合わない不適切な服装をする <input type="checkbox"/>								
・世話をされるのを拒否する <input type="checkbox"/>								
・物を貯め込む <input type="checkbox"/>								
・引き出しや箆の中身をみんな出してしまう <input type="checkbox"/>								
Vitality Index								
・意思疎通 <input type="checkbox"/> 自分から挨拶する、話し掛ける <input type="checkbox"/> 挨拶、呼びかけに対して返答や笑顔が見られる <input type="checkbox"/> 反応がない								
〔以下、任意項目〕								
・起床 <input type="checkbox"/> いつも定時に起床している <input type="checkbox"/> 起こさないで起床しないことがある <input type="checkbox"/> 自分から起床することはない								
・食事 <input type="checkbox"/> 自分から進んで食べようとする <input type="checkbox"/> 促されると食べようとする								
<input type="checkbox"/> 食事に関心がない、全く食べようとしな								
・排泄 <input type="checkbox"/> いつも自ら便意尿意を伝える、あるいは自分で排尿、排便を行う <input type="checkbox"/> 時々、尿意便意を伝える								
<input type="checkbox"/> 排泄について全く関心がない								
・リハビリ・活動 <input type="checkbox"/> 自らリハビリに向かう、活動を求める <input type="checkbox"/> 促されて向かう <input type="checkbox"/> 拒否、無関心								

〔注〕任意項目との記載のない項目は必須項目とする

※塗りつぶし部分の項目は必須項目



LIFEに入力

LIFEへの提出頻度について

利用者ごとに、**下記の(1)～(4)に定める月の「翌月10日まで」**に提出します。

- (1)加算の算定を開始する月にすでにサービスを利用している、既存用者の場合は、算定を開始しようとする月
- (2)加算の算定を開始する月の翌月以降にサービスの利用を開始した、新規利用者の場合は、サービスの利用開始した日の属する月
- (3)(1)または(2)の月のほかに、少なくとも6月ごと
- (4)サービスの利用終了日の属する月

科学的推進体制加算の算定要件は以下の2点

1. LIFEへのデータ提出

2. LIFEフィードバック機能の活用によるPDCAサイクルの推進・ケアの向上を図ること

個別機能訓練加算Ⅱ

単位数	20単位 / 月 ※個別機能訓練加算Ⅰに加えて算定可
算定要件	個別機能訓練加算(Ⅰ)の取り組みに加え、計画等の情報を厚生労働省に提出(LIFEの活用)し、フィードバックを受けて利用者の状態に応じた個別機能訓練計画の作成、計画に基づく個別機能訓練の実施、評価、評価結果を踏まえた計画の見直しや改善の一連のサイクルによりサービスの質の管理を行うこと。(PDCAサイクルの運用)

個別機能訓練加算(Ⅱ)の算定要件



別紙様式3-2

生活機能チェックシート

利用者氏名	生年月日	年 月 日	男・女
評価日	令和 年 月 日()	～	要介護度
評価スタッフ	職種		

	項目	レベル	課題	環境 (実住場所・補助具等)	状況・生活課題
(ア) ADL	食事	・自立(10) ・一部介助(5) ・全介助(0)	有・無		
	椅子とベッド 間の移乗	・自立(10) ・監視下(10) ・進めるが移れない(5) ・全介助(0)	有・無		
	整容	・自立(5) ・一部介助(0) ・全介助(0)	有・無		
	トイレ動作	・自立(10) ・一部介助(5) ・全介助(0)	有・無		
	入浴	・自立(5) ・一部介助(0) ・全介助(0)	有・無		
	平地歩行	・自立(10) ・歩行器等(10) ・車椅子操作が可能(5) ・全介助(0)	有・無		
	階段昇降	・自立(10) ・一部介助(5) ・全介助(0)	有・無		
	更衣	・自立(10) ・一部介助(5) ・全介助(0)	有・無		
	排便 コントロール	・自立(10) ・一部介助(5) ・全介助(0)	有・無		
	排尿 コントロール	・自立(10) ・一部介助(5) ・全介助(0)	有・無		
I ADL	調理	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		
	洗濯	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		
	掃除	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		
起居動作	項目	レベル	課題	状況・生活課題	
	寝返り	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		
	起き上がり	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		
	座位	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		
	立ち上がり	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		
立位	立位	・自立 ・見守り ・一部介助 全介助	有・無		

【個別機能訓練計画書】

作成日：令和 年 月 日	前回作成日：令和 年 月 日	初回作成日：令和 年 月 日
氏名	性別	大正 / 昭和 / 平成 / 令和
障害高齢者の日常生活自立度：自立 I A1 A2 B1 B2 C1 C2	認知症高齢者の日常生活自立度：自立 I IIa IIb IIIa IIIb IV N	要介護度 計画作成者： 監修者：

【ア】利用者の基本情報 個別課題1・別紙様式2を別途活用すること。

利用者本人の希望

利用者本人の社会参加の状況

利用者の居宅の環境（環境因子）

健康状態・経過

病名

発症日・受診日： 年 月 日 受診の病院： 年 月 日 主治の医師： 年 月 日

治療経過（手術のある場合は手術名・術式等）

合併疾患・コントロール状態（高血圧、心疾患、呼吸器疾患、糖尿病等）

機能訓練実施上の留意事項（認知症・訓練中の留意事項、運動強度・負荷量等）

※①～④に加えて、介護支援専門員から、居宅サービス計画上の利用者本人等の意向、総合的な支援方針等について確認すること。

【イ】個別機能訓練の目標・個別機能訓練項目の設定

個別機能訓練の目標

機能訓練の短期目標（今後3ヶ月）目標達成度（達成・一部・未達）	機能訓練の長期目標（達成）	目標達成度（達成・一部・未達）
（活動）	（活動）	
（参加）	（参加）	

※利用者の本人の意向や家族等の意向を尊重し、適切な支援を行うこと。また、個別機能訓練の実施に当たっては、利用者本人の意向や家族等の意向を尊重すること。また、個別機能訓練の実施に当たっては、利用者本人の意向や家族等の意向を尊重すること。

個別機能訓練項目 ←【ウ】

プログラム内容（何を目的に（何のために）へする）	留意点	頻度	時間	主な実施者
①		週 回	分	
②		週 回	分	
③		週 回	分	
④		週 回	分	

※実施の留意点として、目標を達成するために必要な行動を明確にする。また、目標達成の進捗を確認すること。

プログラム立案者：

利用者本人・家族等がサービス利用時間以外に実施すること

特記事項

【エ】個別機能訓練実施後の対応

個別機能訓練の実施による変化

個別機能訓練実施における課題とその要因

※個別機能訓練の実施結果等に基づき、個別機能訓練の目標の見直しや訓練項目の変更等を行った場合は、個別機能訓練計画書の再作成又は更新等を行う。個別機能訓練の目標・訓練項目等に関する最新の情報は記録できるようにすること。初回実施時には確認事項を記入する。

（地域密着型）通所介護 ○○○ 事業所No. 000000000

住所○○○ 電話番号○○○

説明日： 令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

説明者：

※赤枠の項目は必須項目 ➡ LIFEに入力

- ・2021年の介護報酬改定における「LIFE」関連加算をどうとらえるのかが重要になります。科学的な裏付けを取るためのデータを大量に集める必要があるため、事業所に「LIFE」関連加算に取り組んで頂くことを第一目的としています。
- ・厚労省は**科学的介護を推進**しています。
- ・データを集めることが主目的の3年間と捉えて下さい。
- ・今後の介護業界において、**LIFEの導入は必須**となることが予想されています。



引用元：データヘルス改革に関する工程表について 令和3年6月4日 厚生労働省